since 1981

開院40周年記念

達生堂グループ

社会医療法人　達生堂　城西病院
社会福祉法人　達生堂
公益財団法人　茨城国際親善厚生財団

40年を節目に、さらに地域に最良の医療・福祉を

達生堂グループ会長　多田正毅

城西病院は、1981 年 4 月 19 日に茨城県結城市に開院し、地域に根付いた病院として、地域住民の命と健康を見守り続けてきました。40 年間にわたり地域の２次救急病院として、周辺の高度医療機関や地域の病院、診療所と密接な連携を図り、365 日 24 時間の救急車の受け入れを行ってきました。2019 年９月、これまでの病院の取り組みと公益の高さが認められ、茨城県から救急医療を担う県内で３番目の社会医療法人に認可され、より公益性の高い医療を担っていくことになりました。

グループ全体では、日本が超高齢化社会を迎えたのに合わせ、地域の高齢者が安心・安全に暮らしていけるように社会福祉法人を設立。併せて世界にも目を向け、公益財団法人を設立し、紛争地域などに対する医療支援活動や国際交流も行ってきました。

達生堂グループは、社会医療法人、社会福祉法人、公益財団法人の３つの公益法人が連携し、医療、福祉、国際医療貢献の活動を展開しています。超高齢化社会を迎えた中で、心臓カテーテルや脳カテーテル、開頭手術、腹腔鏡下手術などの高度医療にも取り組んでいます。また、地域の協力を得て、社会福祉法人との連携で高齢者が安心・安全に過ごせる環境づくりにも取り組んでいます。一方で、首都圏直下型地震などが想定される中、大規模災害の発生に備え、ＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム）を組織し、災害医療にも取り組んでいます。

40 周年を迎え、グループには続々と若く元気な職員が入職し、活動の幅を広げています。全国的にも稀な社会医療法人、社会福祉法人、公益財団法人を擁する達生堂グループは、地域に最良の医療と福祉を提供すべく、なお一層、切磋琢磨していく所存であります。

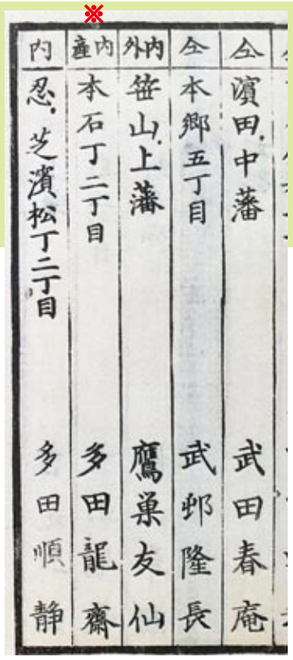
達生堂とは

私達が　幸せで 長生きできる人生を
送れるよう お手伝いします

江戸時代にさかのぼる達生堂のルーツ

達生堂は、江戸時代に東京・本石町二丁目の日本銀行の建つ場所に、多田龍齋が内科と産科を営んでいました。多田家 15 代の多田龍齋は、達生堂グループの多田家 20 代に当たる多田正毅会長の先祖に当たり、江戸時代から現在に至るまで、地域の医療に尽くしてきました。その『達生堂』をグループ名として取り入れています。『達生』は、中国の思想家、荘子の言葉の中にあり、その出典をもとに、グループのモットーとして日々、医療・福祉に取り組んでいます。

※



達生堂グループは

医療　福祉　国際医療貢献

を3つの柱として活動しています

社会医療法人　達生堂

城西病院

社会福祉法人　達生堂

特別養護老人ホーム　ヒューマン・ハウス
介護老人保健施設　すばる
通所リハビリセンター　茶釜の湯(天然温泉)

公益財団法人

茨城国際親善厚生財団　IIFF

40 周年を迎えて

医療・福祉・介護で地域に貢献を

城西病院　理事長　白石裕比湖

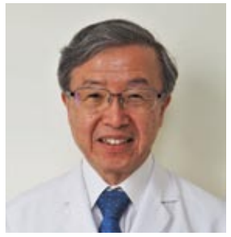
私は医師になって３年目の 1983 年から 85 年にかけて自治医大からの派遣で城西病院小児科に勤務させて頂き、その後は自治医大で職務を継続し小児科教授に就任。その後、自治医大を辞して 2012 年 11 月から再び城西病院副院長、その後病院長を経て 2020 年 4 月から初代多田正毅理事長が会長に就任した後を受けて理事長を拝命いたしました。開院当時は結城市の中核病院として医療を担っておりましたが、現在では達生堂グループとして社会医療法人、社会福祉法人、公益財団法人を取得し、益々地域に貢献させて頂いております。

2019 年武漢に始まった新型コロナ感染症（COVID-19）が 2020 年に日本に上陸し、当グループの診療・介護・福祉に与えた影響は大きく感染対策を取りながら活動しています。現在、コロナ禍で入院患者さんや入所されている皆様とご家族の面会が禁止されているなどグループの機能を十分発揮できているとは言い切れない状態です。現在医療従事者のワクチン接種が済み、一般の方々にも接種が始まり、今後の明るい未来を期待しています。

病院あるいは社会福祉法人は単独ではその目的を達成できません。元より浅学非才な私が多田会長の意志を継承し発展させていくため皆様のご支援を賜りたいと存じます。今後も達生堂グループは地元の医療、福祉、介護の部門で貢献させて頂く所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

専門性高い医療の提供

城西病院　院長　藤田善幸



城西病院は 1981 年に医療法人厚友会として開設され今年で 40 年を迎えます。

「地域医療と地球医療にやさしさと思いやりを」をモットーに救急医療を中心に地域の中核病院として取り組んできました。この間、1999 年の健診センターを始めとし、透析センター、回復期リハビリ病棟、療養病棟および包括ケア病棟、支援センターを逐次開設し 2017 年には DMAT（災害派遣医療チーム）指定医療機関の指定を受けました。そして近年は心臓や脳に対しては血管カテーテルを用いた検査・治療を、消化器疾患に対しては腹腔鏡下手術を導入し先端治療を行っています。このように診療の裾を広げることで予防医療、急性期医療、慢性期医療そして終末期医療と途切れのない、専門性の高い医療を提供することが可能になりました。

2016 年 4 月医療法人「達生堂　城西病院」に改称いたしました。「私達が幸せで長生きできる人生を送れるようお手伝いします」との思いからです。より多くの皆様に健康と、より安全で確実な医療を提供できるものと確信しております。どうぞよろしくお願いいたします。

多職種連携で高齢者サービス向上

社会福祉法人達生堂　理事長　折笠哲男

社会福祉法人達生堂の歴史は、1985 年社会福祉法人筑西会の設立に始まります。1986 年特別養護老人ホーム「ヒューマン･ハウス」開設、その後順次デイサービスセンターの開設、ユニット型増設、介護老人保健施設「すばる」開設、天然温泉通所リハビリセンター「茶釜の湯」開設と順調に発展してきました。そして 2017 年社会福祉法人達生堂に名称を変更。今年４月、結城市西部地域包括支援センター「ヒューマン・ハウス」が開所しました。

施設では職員一同思いやりの心を持って、ケアやリハビリを重視し、生活の場を提供しています。そしてさまざまな介護サービスや機能維持回復のためのリハビリテーションを行っています。また城西病院に隣接しているため医療連携が充実しています。終末期の過剰な医療を望まない時代の意識変化もあり、施設内で緩和ケアも行っています。今年から歯科医師もスタッフに加わり誤嚥性肺炎予防や栄養改善のための口腔ケアの充実も図っています。地域の高齢者サービスの拠点として、多職種連携してサービスの向上に努めます。どうぞ宜しくお願いします。

達生堂 *history*

城西病院は 1981 年、結城市に開院

首都圏からわずか１時間

城西病院は、1981 年 4 月 19 日に茨城県結城市に開院しました。結城市は、東京・首都圏から約 70キロに位置し、隣接の栃木県小山市には東北新幹線の駅があります。病床数 129 床、常勤医師５人で 24 時間救急患者の受け入れでスタート。当時、日本では慶応大学付属病院にしかない心電図自動解析センターを設置するなど、先端医療に取り組んでいました。

地域医療と地球医療に
“優しさ”と“思いやり”を

城西病院は、開院以来、『地域医療と地球医療に“優しさ”と“思いやり”を』をモットーに、取り組んでいます。地域の救急医療を充実させようと開院。日本だけでなく、翌年にはインドシナ難民の海外医療支援をスタート。その中で、地域と地球に対する医療に親身に取り組んでいきたいという思いが込められています。

日本から世界に　国際医療貢献がスタート

1982 年 11 月、城西病院開院の翌年、多田正毅会長はレントゲン技師らとともにタイのカンボジア難民キャンプをトラックで走っていました。トラックには、レントゲン撮影の機材を載せ、流れ弾が時折飛んでくる中を、診療に回っていました。

このインドシナ難民キャンプの医療支援が、城西病院による一番最初の国際医療貢献でした。その後、エチオピア飢餓難民の医療支援やアフガニスタン難民の医療支援に当たりました。アフガン難民の医療支援は 27 年間に及びました。

インドシナ難民支援でレントゲン診断を行う多田会長

アジアに目を向けた多田会長は、2005 年にタイ北部のミャンマーとラオス国境が接する通称「ゴールデントライアングル」での活動を開始。ゴールデントライアングルは、麻薬密造組織が山岳少数民族を使って世界最大規模の麻薬密造を行っている地域です。少数民族は国籍を持つことのできない人も多く、貧困の中で生活をしています。生活環境も悪く、伝染病も蔓延しています。城西病院ではタイ北部に位置するメーサイ市の国立メーサイ病院に中古医療機器をコンテナ 9 台分寄贈し、医師や歯科医師、看護師、レントゲン技師を派遣して現地スタッフを指導し、巡回診療なども行いました。さらに、2006 年度から 3 年間、外務省政府開発援助（ODA）による『大メコン流域地区（GMS）でのマラリア、結核、エイズ対策プロジェクト』に取り組み、タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナムの医師、看護師、臨床検査技師など 107 人に対して専門的な指導を行いました。

27 年にわたるアフガニスタンの支援

ソ連侵攻により混乱を極めたアフガニスタンの支援は、1988 年 4 月にスタートしました。当時、欧米諸国では難民患者を自国に招いて治療する医療支援が行われていましたが、日本は行われていませんでした。そこで白羽の矢が立ったのが城西病院で、IOM（国際移住機構）との連携でアフガニスタンの傷病者を受け入れ、治療をして母国に戻すという活動を開始。5 年間で 56 人の戦傷患者を受け入れました。

アフガン難民の子供を診療する多田会長

日本で受け入れても、3 カ月で母国に戻らないといけない。しかし、リハビリは長期間必要となってきます。そのため、1991 年 8 月にパキスタンのペシャワールにリハビリを目的としたメディカルセンターを開設。2001 年に米国同時多発テロが発生。アフガニスタンへも米国が派兵。そのため、多くの子供たちが戦乱に巻き込まれ、家を追われ、栄養失調の子供も続出しました。このため、メディカルセンターは子供たちの診療も行う一方で、ミルクやコメを詰めた「命の袋」を配布、多くの子供たちの命を救いました。2002 年 9 月にセンターをアフガニスタンのカブールに移しました。現在は、現地の人たちに運営を任せています。

そしてタイに

タイとの友情は、麻薬撲滅の活動『ドイトン・プロジェクト』を行っていたタイ王室のクンチャイ殿下との交流から広がっていきました。タイを拠点としてメコン流域の国々に支援を行うとともに、ゴールデントライアングル地域の麻薬撲滅のために同プロジェクトに協力。2012 年に麻薬撲滅を目的として栽培したドイトンコーヒーを提供する日本で唯一のドイトンコーヒーショップを城西病院内にオープン。さらに同地域にあるメーサイ市と国立メーサイ病院、メーサイ高校などとも親交を深め、医療から行政、教育と交流の輪が広がっていきました。

日タイ修好 130 周年イベントでクンチャイ殿下と多田会長

この交流から、メーサイ市と結城市が姉妹都市を締結し、タイのメーサイ高校と結城一高、結城二高、鬼怒商との高校生同士が交流する機会が設けられました。2017 年、日タイ修好 130 周年を記念し、結城市から約 100 人の訪問団がメーサイ市を訪れ、記念イベントに参加し、両国の交流を深めました。

今でも姉妹病院となっているメーサイ病院は、毎年看護師などの医療関係者を城西病院に派遣し、約 1 カ月にわたって日本の医療について学んでいます。城西病院からも医療関係者をメーサイ病院に派遣し、相互交流を行っています。

超高齢化社会とともに

高齢者介護施設オープン

城西病院がオープンして５年後の1986年４月28日、社会福祉法人筑西会（現在は社会福祉法人達生堂）の特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」がオープンしました。全国的にも高齢化社会が進み、地方都市の結城市は全国よりも高い高齢化率を示しており、福祉施設の充実が急務となっていました。

特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」

この高齢者介護施設は、道路を挟んで病院に隣接して建設。医療と福祉が隣り合って機能する施設として誕生しました。1999年４月、結城デイサービスセンターがオープン。同じ年の９月に居宅介護支援事業所が開かれました。

特養ユニット型施設

2007年12月にヒューマン・ハウス２号棟は、当時の先端を行くユニット型を取り入れた施設としてオープン。2000年に入ってから、全国的に取り入れられるようになった形態で、入居者が自宅にいるようなプライバシーを保った環境で個別ケアを受けるとともに、ユニットごとに家庭的な雰囲気で生活を送ることができます。

老健施設オープン

高齢化が進み、高齢者が入所する施設が不足する中、医療ケアと日常生活サービスを提供し、在宅復帰を目指していく施設として介護老人保健施設（老健施設）が1973年に新制度として創設されました。

この制度を受け、社会福祉法人達生堂は2011年９月、介護老人保健施設「すばる」を開所。城西病院と密接に連携し、日常生活サービスとリハビリ、医療ケアを行う施設として介護老人保健施設「すばる」が誕生しました。

2016年７月には、天然温泉によるリハビリも行える通所施設として、通所リハビリセンター「茶釜の湯」が開所しました。

介護老人保健施設「すばる」

大規模災害に備えて

2019年９月５日、関東地方を直撃した台風として史上最強クラスの台風15号が房総半島などを襲いました。千葉県の房総半島では電柱が暴風でなぎ倒されるなどの被害が相次ぎ、医療機関も大規模停電に見舞われました。

房総半島の100床規模の療養病院も停電となり、入院患者が全員避難する状況に陥りました。このため、木更津市の君津中央病院にすべての患者を搬送。茨城県は千葉県からDMAT派遣要請を受け、城西病院チーム６人は、この君津中央病院に急行。９日午後11時50分に到着、翌10日未明から昼にかけ、陸路で避難患者を千葉や神奈川などの病院に搬送しました。

千葉で活動する城西病院DMATチーム

この出動が城西病院DMATが結成されてから、初めて県の要請を受けての出動となりました。城西病院は、DMATの隊員養成を積極的に行っており、2017年３月に茨城県からDMAT指定医療機関の指定を受け、数多くの訓練に参加してスキルを磨いて大規模災害や事故に備えています。これまでにも、病院近くの工場で爆破事故があり、自主的に出動して負傷者の手当てをしたこともありました。関東に多大な被害をもたらすとされる南海トラフ地震や首都直下型地震の危険が叫ばれる中、地域の安心と安全を守るために活動を行っています。

全職員が救命の応急処置を学習

達生堂グループでは、患者さまや利用者さまの急変に対応するため、新入職者すべてが、救命のための応急処置として、心肺蘇生法の講習を受けています。心肺停止の急変者を発見した場合、一刻も早い心肺蘇生で命を救う必要があります。全職員が講習を受けることにより、いざという時の対応が素早く行えるように学習しています。そして、この学習は普段の生活の中でも急変した人を救うことにつながっていきます。

DMAT

1995年（平成７年）１月17日に発生した阪神淡路大震災は、6500人近い人命を奪いました。平時の救急医療が提供されていれば、500人が救命できた可能性があるとされ、誕生したのが災害派遣医療チーム（DMAT）です。「避けられた災害死」を救いたいと、医師・看護師・事務職員などがチームを組んで、災害医療に当たります。

達生堂

社会医療法人 達生堂　城西病院

地域医療と地球医療に“優しさ”と“思いやり”を

城西病院は、地域の人たちの命と健康を守るため、開院から 24 時間の救急受け入れを行ってきました。医療が高度化、細分化していく中で、２次救急病院として近隣の医療機関との連携を強化するとともに、ヘリポートも整備し、ドクターヘリなどのランデブーポイントとして活用されています。医療連携では、高度医療を担う自治医科大学附属病院や獨協医科大学病院などと連携するとともに、地域の病院や医院とも連携を図り、地域の人たちの命と健康を見守っています。

ヘリポートに着陸するドクターヘリ

社会医療法人とは

城西病院は 2019 年 9 月、医療法人から社会医療法人に認可されました。社会医療法人は、地域医療に不可欠かつ公益性の高い救急医療やへき地医療、災害医療、周産期医療などを行っている医療法人に対し、都道府県が地域医療支援病院として認定しています。

城西病院は開院から地域の救急医療に力を入れてきました。災害医療の面でも DMAT を編成し、茨城県の DMAT 指定医療機関にもなり、さらに地域の救急医療、災害医療に取り組んでいきます。

先端の医療を提供

心臓血管カテーテル検査

循環器内科では、心臓血管カテーテル装置を使った検査や治療を行っています。血管カテーテル装置は、2013 年 12 月に導入しました。この装置は､心臓などの血管内に細い管(カテーテル）を挿入して血管の狭窄(きょうさく)や梗塞(こうそく)部位を診断したり、カテーテルの先にバルーン（風船）やステント（網目状の筒）をつけて血管内の治療を行っています。

開頭による腫瘍摘出手術

脳外科では、2020 年から脳梗塞や脳腫瘍などの治療に開頭手術や血管カテーテルによる治療などを行っています。これらの手術は、ほかの診療科との密接な連携が必要不可欠です。開頭手術についても術前、術後の外科以外の治療やリハビリとのつながりがあって初めて行うことのできる手術です。また血管カテーテルを用いて、頸動脈狭窄症などの治療も行っています。

腹腔鏡下手術

腹腔鏡下手術は、腹部に開けた小さな穴からスコープを入れ、スコープで映された映像をもとに行われる手術です。

開腹手術に比べ、患者さまの負担が少なく、入院期間も短く、手術跡が目立たないというメリットがあります。城西病院では、婦人科で腫瘍摘出などの手術に腹腔鏡下手術を用いてきました。

2021 年から、消化器科や外科でも腹腔鏡下手術による大腸がん摘出などの手術も行われています。この術式による大腸がんの摘出は、大学病院など大病院で行われていますが、地域の２次救急病院ではほとんど取り組まれていない手術といいます。

城西病院では、総合病院として患者さまにとってより良い治療が行えるよう、常に新しい医療を導入していく努力を積み重ねています。

地域の安心・安全を守る医療

地域包括ケア病棟を設置

地域包括ケア病棟

城西病院は許可病床 261 床で、一般病棟（内科系、外科系）、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟で運用していましたが、2020 年に地域包括ケア病棟が新しく誕生しました。

これまでは、病院で治療が終わると退院になります。しかし、超高齢化社会が進む中で、患者さまも高齢者が占める割合が多くなり、退院後の生活に不安を覚える方も多くなっています。

こうした背景の中で、地域包括ケア病棟が誕生しました。患者さまが病院での治療を終え、退院した後の自宅での生活を不安なく過ごすために、最大 60 日を期限に、治療や退院に向けたリハビリを行っていきます。また、退院後は高齢者施設を希望される方もいますが、手続きに時間がかかったり、すぐに入所することができないケースもあります。その間、リハビリをしながら受け入れ態勢が整うまで入院することができます。

グループ全体で支援

達生堂グループは、城西病院のすぐ隣に、社会福祉法人達生堂の特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」と介護老人保健施設「すばる」を設置し、それぞれに通所施設となるデイサービスセンター「ヒューマン・ハウス」と通所リハビリセンター「茶釜の湯」を運営しています。

ご高齢の入院患者さまが、退院後にこうした施設のご利用を希望された場合、達生堂グループが一丸となって患者さまに寄り添い、ソーシャルワーカーや相談員、ケアマネージャーなどが最良と思われる解決策を提示いたします。自宅に戻るが、日常の生活に不安を感じられるときには、ショートステイやデイサービスで介護を受けたり、通所リハビリで機能回復を行っていくこともできます。

結城市西部地域包括支援センター ヒューマン・ハウス

お困りの時は

結城市西部地域包括センター「ヒューマン・ハウス」が 2021 年４月１日にオープンしました。地域包括センターは、介護・医療・保健･福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」として、介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメントの業務を行っていきます。結城市内には東部、南部、西部のセンターがあり、同センターでは、西部にお住まいの高齢者を対象としています。お問い合わせは℡ 0296-45-8222 まで。

先端の医療を支える検査機器

城西病院では、先端の検査機器や医療機器を駆使し、患者さまの健康を守るとともに、治療に全力を挙げています。CT スキャナーは、一度に 128 スライスの断面を撮影、短時間での検査が可能になっています。MRI は、磁束密度 1.5 テスラの強い磁石と特殊な電波による画像診断装置です。血圧脈拍検査装置は、動脈硬化や血管閉塞などを判定します。マンモグラフィーも最新の機器を導入しています。

MRI

血圧脈拍検査装置（ＡＢＩ／ＰＷＶ）

ＣＴスキャナー

マンモグラフィー

概　要
1981 年 4 月 19 日開院
許可病床　261 床
社会医療法人
２次救急指定病院
DMAT 指定医療機関

〒 307-0001
茨城県結城市結城 10745-24
℡　0296-33-2111　Fax　0296-32-1937
E-mail　josai-hp@josai-hp.com
城西病院ＨＰ

沿　革

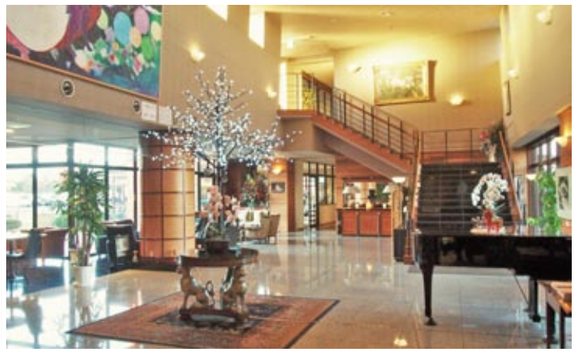
1981 年	4 月　医療法人厚友会城西病院 開設
1989 年	3 月　病院棟増設
1999 年	5 月　城西総合健診センター開設
2011 年	11 月　新棟完成
2012 年	7 月　ドイトンコーヒー1号館オープン
2013 年	5 月　回復期リハビリテーション病棟開設
2013 年	8 月　病児保育室を院内に開設
2014 年	5 月　透析センター開設
2016 年	4 月　医療法人「達生堂」に改称
2017 年	3 月　DMAT 指定医療機関に指定
2019 年	9 月　医療法人から社会医療法人に認可

城西総合健診センター

現代は、ストレスの時代と言われています。「病は気から」というように、精神的な原因からくる病気が多くなっています。

精神を常に健全に保つことは、身体の健康を維持する重要な要因のひとつとされています。そのため、当健診センターは、最新の検査機器はもちろん、運動施設や温浴施設を備え、"安心"と"ゆとり"をご提案する"健康の社交場"としてもご利用いただけます。

センターでは、日帰りの健診や一泊二日のドック、女性を対象としたドックなど、さまざまなコースをお選びいただけます。また、健康増進のために会員制のジムも設けています。汗をかいた後は、天然温泉にゆっくりつかって、疲れを落としてください。



お問い合わせは　TEL 0296(33)0115　まで

透析センター

透析センターは、ベッド数30床。うち、２床は、感染症の患者さまに対応するため、個室になっています。

通院が困難な方などのため、送迎サービスを行っています。車いすのまま体重測定を行うことができる測定器や３モーターの自動ベッドを導入するなどバリアフリーのセンターになっています。外来の患者さまをはじめ、城西病院に入院中の患者さまなど、地域に密着したセンターを目指しています。すべてのベッドは血液透析ろ過（HDF）に対応。常に細菌の侵入を監視する生菌（ET）検査を行い、厳重な水質管理のもとでオンライン透析を行っています。

透析は月曜、水曜、金曜のグループは午前８時と午後零時、火曜、木曜、土曜のグループは午前８時から開始しています。

お問い合わせは　TEL 0296(33)8663　まで

充実の関連施設

病児保育室　ひばり

子供が急に病気になったとき、安心して預けることができるのが病児保育室です。ひばりは、結城市の委託事業として、城西病院内の小児科前に設置しています。専門スタッフが、保護者が戻るまでの間に子供のお世話をするとともに、小児科医や看護師が子供の病状の経過観察を行います。

対象となる児童の疾患は、風邪や腹痛、発熱などの日常疾患、水痘、おたふく、インフルエンザなどの伝染性疾患、耳鼻咽喉科、歯科、眼科の疾患、骨折、熱傷などの外傷。伝染性疾患の場合は、保育室内に設けた隔離室で保育します。

お預かりできる子供は、結城市か小山市に在住、在勤の保護者の子供で、おおむね生後半年から小学６年生まで。月曜から金曜（祝日除く）の午前８時半から午後６時となっています。

お問い合わせは
TEL 0296(33)5121　まで

Café DOITUNG ドイトンコーヒーショップ

タイ王室の麻薬撲滅活動・ドイトンプロジェクトに賛同し、2012年７月に日本で初めてのドイトンコーヒーショップが、城西病院内に開かれました。タイ北部で国境付近に住む少数民族が栽培、焙煎したコーヒー豆を仕入れ、提供しています。このコーヒーは、日本とタイを結ぶ航空機の機内サービスでも提供されるほど、味には定評があります。また、コーヒーとともに出来立てのクレープも提供し、人気を集めています。

国内のドイトンコーヒーショップは、達生堂グループが運営する結城市内の城西病院と結城駅前の２店舗のみです。

院内託児所

働くお母さんたちを応援したいと、城西病院では院内託児所を設けています。お預かりするのは原則、零歳児から未就学児童。季節のイベントや遊びなどを取り入れて、楽しい毎日を過ごしています。

ニューデイリーヤマザキ 城西病院店

達生堂グループが運営しています。身の回りの品はもちろん、焼き立てパンや地場産の新鮮野菜などが人気です。

社会福祉法人　達生堂

特別養護老人ホーム
ヒューマン・ハウス
℡ 0296(34)7101

沿　　革

1985 年 11 月	社会福祉法人筑西会設立
1986 年　4 月	特別養護老人ホーム ヒューマン・ハウス開所
1999 年　4 月	結城デイサービスセンター開所
2007 年 11 月	２号棟開所
2011 年　9 月	介護老人保健施設 すばる開所
2012 年 11 月	３号棟開所
2014 年 11 月	天然温泉「茶釜の湯」命名
2015 年　6 月	足湯「茶釜の湯」無料開放
2016 年　7 月	通所リハビリセンター 茶釜の湯開所
2017 年　4 月	社会福祉法人達生堂に名称変更
2021 年　4 月	結城市西部地域包括支援センター オープン

通所リハビリセンター茶釜の湯
℡ 0296(21)2001　（天然温泉）

介護老人保健施設　すばる　℡ 0296(21)2088

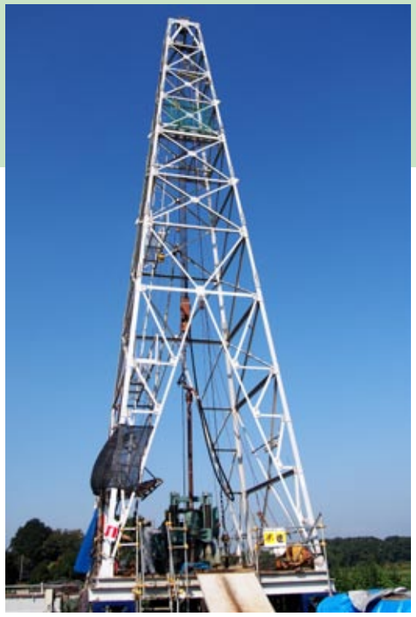
特別養護老人ホーム　ヒューマン・ハウス
150 床　ショートステイ 17 床
◎在宅での生活が困難な高齢者に、生活の場としてさまざまな介護サービスを提供する施設

結城デイサービスセンター　ヒューマン・ハウス
定員 25 名
◎日帰りで介護サービスを受ける施設

介護老人保健施設　すばる
100 床
◎在宅への復帰を目標に、機能回復訓練や介護サービスを提供する施設

通所リハビリセンター　茶釜の湯
定員 125 名
◎日帰りで日常生活の自立のための機能維持回復を図るリハビリテーションを行う施設

※いずれの施設も介護認定を受けた方を対象としています



温泉を掘削したやぐら

天然温泉　茶釜の湯

2014 年 10 月、結城市の北部エリアで温泉を掘削しました。地下約 1500m から泉温 40 ～ 43℃の温泉が湧出しました。泉質はナトリウム塩化物温泉で、湯冷めしにくく、血液の循環を促進し、低アルカリ性で美肌効果があるとされています。

この温泉を利用して通所リハビリセンター「茶釜の湯」がオープン。近隣の方にも温泉を活用していただこうと、無料の足湯「茶釜の湯」も設置しました。

温泉は湧出量毎分 112.9㍑で、デイサービスセンターや健診センターでも活用しています。

長さ 10㍍の温泉リハビリプール

無料開放している足湯

豊かな自然に囲まれた

ショートステイ　みぶの杜

℡　0282(82)0077

2017 年 6 月にオープン。栃木県壬生町の東関東自動車道壬生 IC と都賀 IC の中間、自然豊かなロケーションにあります。

施設は、明治時代から続く古民家に隣接して建てられ、四季折々の花が施設周辺を彩ります。この古民家は、多田正毅会長の母方の実家で、明治時代初期に建造されました。総ケヤキづくりの門から入ると、約 100 畳の 2 階建て母屋、そして 50 坪の書院と続きます。

施設とこの母屋はつながっており、行事などに使われます。古民家の庭は歴史を重ねた灯篭や枯山水、四季折々の草花が目を楽しませ、施設北側には自然豊かな里山が広がっています。

施設は、城西病院や社会福祉法人達生堂と密接な連携のもと、運営しています。

公益財団法人 茨城国際親善厚生財団

Ibaraki International Friendship and Welfare Foundation

IIFF は、城西病院開院の翌年から、国際医療支援をはじめ、海外との交流などを続けてきました。現在の主な活動としては、タイとの交流、中国との交流、海外への消防車両の寄贈、災害時などの医療支援、海外の介護・看護スタッフの育成などと多岐にわたっています。

タイとの交流

タイ北部で麻薬撲滅活動・ドイトンプロジェクトを展開するタイ王室のメーファールワン財団をはじめ、メーサイ病院、メーサイ市、メーサイ高校とIIFF のつながりが、行政や教育、文化と分野を超えて友情の輪を広げています。姉妹病院のメーサイ病院とは、看護師などのスタッフを相互に派遣する医療交流を実施しています。現在、タイから介護員の技能実習生を受け入れる予定で、タイとの医療や福祉を通した交流を続けていく計画です。

中国との交流

中国との交流は、2017 年３月に中国から日本の介護事業を学ぶための視察を受け入れたのがきっかけとなっています。現在、中国の送出機関を通し、中国各地から介護の技能実習生を受け入れています。中国では今後、高齢者福祉施設の大幅な需要が見込まれ、人材の養成が急務となっていることから、日本に実習生を送り出し、リーダーとなる人材を育てていく方針といいます。IIFF では、技能実習生の受け入れのための監理団体となり、2019 年から中国人の介護技能実習生を受け入れ、城西病院や社会福祉法人達生堂のほか、県内の福祉施設や病院で実習を行っています。

Café DOITUNG

麻薬撲滅活動の一環として城西病院内に日本で初めてのドイトンコーヒーショップを開いたのに続き、2015 年 11 月に JR 結城駅前の結城市民情報センターに２号店をオープン。同プロジェクトの代表で、タイ王室のクンチャイ殿下も出席し、オープンを祝いました。

職員の海外研修

メーサイ病院での職員研修

国際交流の一環として、これまでにタイと中国に多くの職員を派遣し、医療などについて研修を行うとともに、交流を深めています。

タイでは、メーサイ市を訪問し、メーサイ病院やメーサイ市役所などで研修。中国では西安市で介護施設などを視察し、日中の歴史も学びました。

中国・西安での福祉施設研修

地域との連携

大規模災害時には地域との連携が不可欠です。そのため、達生堂グループは地元４自治会と災害時協定を 2018 年に締結しました。

大規模災害が起きた時には、病院や福祉施設が地元高齢者を積極的に受け入れ、地元自治会は病院や福祉施設の運営をサポートしていくという内容です。また、市内で開かれる大イベントには IIFF で救護所を設置し、市民の安心・安全を守っています。

IIFF の歩み

1982 年 11 月	インドシナ三国の難民への国際医療救援活動にあたる
1984 年 11 月	アフリカ・エチオピア飢餓難民への医療活動を行う
1987 年 12 月	アフガニスタン戦争の負傷者への医療救援活動実施
1988 年 4 月	アフガニスタン難民患者の日本での受け入れ治療を始める。５年間で 56 名のアフガン戦傷患者を受け入れる
1989 年 2 月	WACIID（免疫学と感染症に関する学術会議）の開催
1991 年 8 月	アフガニスタン難民のリハビリを目的としたアフガン難民の無料診療所（JIFF.PT センター）をパキスタン・ペシャワールに開設。JIFF.PT センターに内科、小児科を増設。JIFF メディカルセンターと名称変更
1997 年 7 月	国際医療協力に携わる GO（政府機関）、NGO（非政府機関）が集う第 12 回日本国際保健医療学会を主催者となり開催
2001 年 11 月	2001 年９月の米国同時多発テロ事件以後、アフガン難民がパキスタン国境地帯に多数流入。アフガン難民緊急医療支援部隊を派遣。１日 800 名～ 1200 名を診療
2002 年 9 月	JIFF メディカルセンターをアフガニスタン・カブールで『母と子のための診療所』として開設
2005 年 2 月	タイとミャンマーの国境地帯である〝黄金の三角地帯〟への医療支援を開始。タイ国王室のメーファールワン財団と協力のもと、日本の中古医療機器９コンテナを寄贈
2005 年 4 月	タイ国バンコク市の介護学校と連携し、介護士（12 名）の医療視察の受け入れを実施する
2006 年 2 月	GMS（大メコン流域地区）メディカルトレーニングセンターの医療支援事業が本格化
2009 年 3 月	ミャンマーからタイへの流入者及び山岳民族に対する巡回医療、妊婦検診、ワクチン接種、医療技術指導を実施
2010 年 3 月	タイを中心とする GMS 諸国（タイ、ミャンマー、ラオス、ベトナム、カンボジア、中国雲南省）の医療従事者に対する集合研修を実施
2010 年 4 月	友好病院の締結をしているメーサイ病院より、６名の病院職員が視察のため１カ月間来日。その後、看護師や薬剤師、理学療法士、事務員など 44 名が来院
2012 年 7 月	タイの麻薬撲滅プロジェクトの一環で、ドイトンコーヒーショップが城西病院内にオープン
2013 年 4 月	結城市とメーサイ市の姉妹都市交流事業の一環として、メーサイ高校の生徒２名と教員３名を結城市に招待。その後、６年間にわたって交流
2013 年 11 月	財団法人「日本国際親善厚生財団（JIFF）」から公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（IIFF）」に移行
2014 年 10 月	メーサイ市にはしご車を寄贈
2015 年 5 月	IIFF の仲立ちで、茨城県笠間市とメーファールワン財団が「陶芸における協力関係強化に関する覚書」を締結
2015 年 11 月	結城駅前の結城市民情報センター１階にドイトンコーヒー２号店がオープン
2017 年 3 月	茨城県から DMAT（災害派遣医療チーム）指定医療機関の指定証の交付を受ける
2017 年 3 月	外国人技能実習生として介護員の受け入れの準備を進めるため、中国から２人を招いて日本の介護現場を視察
2017 年 11 月	達生堂グループ職員と結城市の訪問団約 100 人がタイ・メーサイ市を訪問し、日タイ修好 130 周年記念行事に参加
2018 年 3 月	介護職の外国人技能実習生の受け入れ団体となるため、監理団体となる
2019 年 1 月	中国から初めての介護職の技能実習生３人を受け入れ。その後 18 名の実習生を受け入れ
2019 年 9 月	茨城 DMAT が台風 15 号の被災地、千葉県からの要請で出動
2019 年 11 月	職員研修・視察で初めて中国・西安へ

達生堂グループ

社会医療法人 達生堂

城 西 病 院
〒307-0001　茨城県結城市結城 10745-24
℡ 0296(33)2111　Fax 0296(32)1937

城西総合健診センター
〒307-0001　茨城県結城市結城 10745-24
℡ 0296(33)0115　Fax 0296(33)8300

病児保育室　ひばり
〒307-0001　茨城県結城市結城 10745-24
℡・Fax 0296(33)5121

公益財団法人

茨城国際親善厚生財団
〒307-0001　茨城県結城市結城 10745-24
℡・Fax 0296(32)8288

ロゴマーク

達生堂のロゴマークは、笹竜胆（ササリンドウ）を表しています。多田家15代の多田龍斎が、江戸本石丁二丁目、現在の日本銀行本店の建つ場所で、御典医として内科、産科を営んでいたことが、江戸時代の古書『醫家人名録』で明らかになりました。達生堂グループは、多田家20代に当たる多田正毅会長が創業。江戸時代からの志を受け継ぐためロゴマークを家紋である笹竜胆としています。

社会福祉法人 達生堂

特別養護老人ホーム
ヒューマン・ハウス
〒307-0001　茨城県結城市結城 10767-19
℡ 0296(34)7101　Fax 0296(33)8010

結城デイサービスセンター
〒307-0001　茨城県結城市結城 10767-24
℡・Fax 0296(32)1864

居宅介護支援事業所
〒307-0001　茨城県結城市結城 10767-24
℡ 0296(32)1890　Fax 0296(32)1864

介護老人保健施設
すばる
〒307-0001　茨城県結城市結城 10780
℡ 0296(21)2088　Fax 0296(33)6550

通所リハビリセンター
天然温泉 茶釜の湯
〒307-0001　茨城県結城市結城 11299-1
℡ 0296(21)2001　Fax 0296(34)0081

居宅介護支援事業所
〒307-0001　茨城県結城市結城 11299-1
℡ 0296(21)2003　Fax 0296(34)0133

結城市西部地域包括支援センター
ヒューマン・ハウス
〒307-0001　茨城県結城市結城 10767-24
℡ 0296(45)8222　Fax 0296(45)6662

関連施設　ショートステイ みぶの杜　ニューデイリーヤマザキ

〒321-0236　栃木県下都賀郡壬生町上稲葉 1205-1
℡ 0282(82)0077　Fax 0282(82)0085

城西病院店　℡ 0296(32)5389
茨城県結城市結城 10743-12

グループお知らせ版

© 達生堂 group